第３回国連防災世界会議の関連ワークショップについて

参考資料２

平成 27 年 2 月 17 日
SIP 防災　事務局

１．第３回国連防災世界会議

国連防災世界会議は、国際的な防災戦略を策定する国連主催の会議です。第 1 回世界会議は 1994 年に横浜市で、第 2 回世界会議は 2005 年に兵庫県神戸市で開催され、国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組（HFA）」が策定されました。第 3 回世界会議は 2015 年以降の新たな国際防災の枠組を策定するため、東日本大震災の被災地である仙台で開催されます。

http://www.bousai.go.jp/kokusai/kaigi03/index.html

日程　：　2015 年 3 月 14 日（土）～18 日（水）
場所　：　仙台市（東北各県でも準備中）
参加者：　各国首脳、閣僚、国際機関代表、国際認定 NGO など 5 千人、全体で 4 万人以上が参加（想定）

会議の意義：

①兵庫行動枠組（HFA）の後継となる新たな国際防災の枠組の策定
②幾多の災害から日本が得た教訓、防災技術・ノウハウ等の発信
③東日本大震災からの復興の発信及び被災地の振興

会議構成：
ｉ）本体会議：新たな防災戦略を議論する政府間会議等
ii）関連事業：シンポジウムや展示などの一般公開事業、被災地視察、歓迎事業

第３回国連防災世界会議仙台開催実行委員会：
http://www.bosai-sendai.jp/

以上